

同 志 社 大 学

2015 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016年 2 月 18 日提出

所 属	職 名	氏 名
政策学部	教授	井口貢
研 究 題 目	文化政策と観光政策の連関性に関する考察 初学者のための地域文化と地域観光研究の在り方についての研究 地域学習とまちづくり協育	
研 究 成 果 の 概 要	<p>個人研究費に関わる主な成果は以下のとおりである（いずれも、著書・論文・論考として公刊されたもののみであり、口頭発表等は多岐に渡るため省略しました）。</p> <p>井口編著として、『観光学事始め―「脱観光的」観光のススメ』（法律文化社）を、8月に上梓した。</p> <p>また、依頼論文として「“サードプレイス”そこは自己を再創造する場所」を、『大阪保険医雑誌』5月号（大阪保険医協会）に発表、同じく依頼論文として、「22世紀の子どもたちに「観光」を伝えるために～くらしのなかでつむがれる文化と人文知」を、『経済月報』12月号（十六銀行総合研究所）に発表した。（ともに、井口単著）</p> <p>依頼論考としては、「トボスとしての近江八幡～アール・ブリュットとまちつむぎ、あるいは福祉としての観光」を、図録『アール・ブリュットアート 日本3』（社会福祉法人グロー）に発表、さらに『同志社時報』140号（10月刊行）に「まちつむぎと人文知～文化政策の教育と実践から」を発表した。</p>	